

# 吸川放水路をPR!

地元小学校による施設見学会を開催しました!!

県南広域振興局土木部一関土木センター

岩手県が管理する一関市内の一級河川吸川の放水路トンネルにおいて、一関市立南小学校の4年生児童(49名)を対象に、同校の社会科学習の一環として、令和6年6月12日、毎年恒例となっている施設見学会を開催しました。

今年は、晴天の中開催することができ、児童たちは施設概要説明などを熱心に聞いていました。その後のトンネル内部の見学では、児童から「大きい!」「奥まで歩きたい!」「冷たい!」などの声が発せられ、質問タイムでは、「大きさは?」「高さは?」「魚はいるの?」「動物は入ってくる?」など、多くの児童から質問が出され、楽しく元気に理解を深めていただくことができました。



南小学校 施設見学会

## 事前合同清掃活動の実施

見学会の開催に先立ち、当センターでは、一般社団法人岩手県建設業協会一関支部のご協力をいただき、合同で放水路出口付近の清掃活動を実施しました。

約37名の職員・会員が参加し、子どもたちが安全で綺麗な環境で見学会ができるようにとの思いを共にしながら、雨天の中清掃活動に励みました。



事前合同清掃活動

## 吸川放水路の概要

- ① 役割：新山川と吸川の洪水を、トンネル等を使って磐井川へバイパスさせる河川施設です。
- ② 延長等：放水路総延長L=1,631m  
(うち、吸川合流部下流L=1,184m)
- ③ トンネル規格(最大)：幅B=11.8m/高さH=8.4m
- ④ 工事期間：昭和47年~56年(43年前に完成)

## 今後について

当センターでは、インフラツーリズムや工事現場見学会等に積極的に取り組んでいるところですが、今後も、このような施設見学会を開催することで、地元の方々や将来の地域を担う子どもたちに、施設の役割や事業効果を理解してもらう機会として、また、建設業に関心を持ってもらうきっかけづくりとして、PRを行っていきたいと考えています。

